

NPO・ボランティア部門

受賞者： とみやす よしこ 富安 兆子 (85歳)

高齢社会をよくする北九州女性の会 代表



1977年、自殺予防を目的とする「北九州いのちの電話」の設立に参画。開設時から電話相談を通じて自殺防止の活動に貢献し、のちに理事・相談員研修委員長等を務める。1985年には「高齢社会をよくする北九州女性の会」を発足させ代表に就任。北九州を中心に70代から80代の高齢者の低栄養改善と、社会的孤立を防ぐための配食活動の仕組みを作り現在もリーダーシップを発揮している。

また、女性の介護離職や子育て離職を防ぐために、子育て支援サービス「グランマ」、高齢者の見守りや話し相手、家事援助を中心とした高齢者支援サービス「やさしい手」を運営。このほか、DV被害者支援の「北九州シェルター」の運営や、北九州市立大学を拠点にした「コラボラキャンパスネットワーク」で、幅広い世代の男女、留学生といった様々な人々が交流しボランティア活動に参加しやすい場を創るなど、広範なボランティア活動を展開している。

女性、高齢者、青少年が抱える諸課題の解決に向け、世界50カ国あまりを訪れ、調査研究をし、現在の活動に活かしている。自らを必要としている「誰か」のために働くことを重視し、精力的に活動が続けている。

推薦者： 松村 満美子 NPO 法人腎臓サポート協会 理事長